## 1st Ohashi International Championship in Nepal

## 第1回大橋杯国際拳法選手権大会 (ネパール)報告

## 2008年国際武道研究会

講師:世界拳法会連盟会長 大橋千秋

日本武道の歴史についてみなさんと討論したいと思います。先ず、私が概略につきお話します。

1500 前に生まれた日本の武術は、鹿島神宮神官の国 摩真人により産み 出された技「神妙剣」などのように約 1000 年前に確立されていきま した。1600年のはじめ松本備前守紀政元は思うところがあって家老の 座を退き、鹿島神宮祝部として神武の顕現に志しました。これを知っ て鹿島に赴いた國井景継もとで鹿島の神前に仕えた備前守は武道大系 としての鹿島神流を完成させました。1600年代には、上泉伊勢守信綱に より新陰流が生まれ門下である柳生石 舟 斎は、柳生新陰流を創設しま した。同じく上泉伊勢守信綱の弟子である小笠原源心斎は明にて「張 良の末」より躰術を学び李小龍のような動きをしたと伝えられていま す。同じように各地の武道は、体系づけられていきました。例えば越 後では、長尾流躰術などが生れと共に、柔術の源流と言われる たけのうちりゅうけんぽうたいじゅつ 竹之内流拳法躰術が育っています。明治の初頭(1882 年)嘉納治五郎 により柔道が創設され神道無念流や北辰一刀流などの各流派が剣道と

呼ばれるようになっていきました。この時代に驚手と呼ばれていた沖縄の武術も船越義珍により本土に紹介された。嘉納治五郎とともに演武会が行われこの時は、柔道着で行われこの後、空手着に変化していく。柔道、剣道、空手道は、「競技武道」と変遷しスポーツ性を加味し多くの人に愛される試合数も多い武道となって行いきました。一方、技が公表される試合に重点を置かず「伝承形式」の「完全相伝」でなく「一子相伝」の形を進むものを「古武道」と言います。このセミナーの各国の攀法会の皆さんは、「古武道」にあたります。

- 1. 大橋講師:さてを養さいからでの指導員の方にお訪ねします。「鹿島大明神」と祭壇があるのは、空手は、日本古来の武士の営為では、ないが武士道を尊ぶ。現では、ないでしょうか。・・・・極く真指導者:その様に習っています。
- 2. 大橋講師:では、お釈迦様は、ネパールで誕生しましたが拳法 の達人であったことは、ご存知でしょうか。・・・・会場:知 りませんでした!

釈迦族の王子であった仏陀は、武術、馬術などあらゆる節で を使れた人物でした。私たち日本人も仏教哲学の影響を大き く受けています。「黙想」のときに手を組みますが私たちは、 サムライですので抜力しやすいように右手が上に輩ねます。 平和を愛する釈迦は、どちらでしょう?・・・会場:わかり ません!勉強します!

- 3. ラマ大会会長:ネパールが世界に認められるには、先生は、何が必要と思いますか?・・・大橋講師:武士道の根源「義」「信」と確信します。正義(義)は、命をかけサムライは、護り信「信頼」を失くす行為は、恥て切譲します。「義」「信」を費けば、世界の人々は、信頼します。信頼が多くの人が共高活動を容易にします。
- 4. ラマ大会会長:タイ、パキスタン、インドも路上に食べ残したゴミを平気で捨てています。このような行為をどう思いますか?・・・大橋講師:食事のとき「いただきます!」と言う言葉は、ネパール語にありますか? 意味は?・・・ラマ会長:ありますが意味が分かりません。

大橋講師:意味は、正しいか分かりませんが学法会では、「いただきます。」とは、「魚の命、お肉の命、お米の命を頂き我が命を保つ」事と拳法会の合宿では、訓話があり「いただきます!」が食事のときに唱えられます。わたしは、ここに

お覚えになる先生たちが生徒と共に実践し伝えずすることで解決すると信じます。大切な「命を路上に投げ捨てることは、ありません。サムライにとって「牛の「命もくは」の「命もも無の「命でも平等です。」全て禅です。

- 5 . ラマ会長:少なくともサムライと自覚し路上に捨てることを 止めましょうね!みなさん!
- 6. 大橋講師:時間も参りましたので最後に「拳法を稽古しているから武道を学んでいるとは、言いません」武士道を学んでこそ武道を学んでいると言えます。東京オリンピックの時のヘーシンク選手は、(略別紙)・・・。礼節ある武士(サムライ)になってください。

